

平成27年度 継続被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」報告

【福島応援人形劇公演 Part2】

- 1) 日 程 平成27年11月4日（水）～9日（月）
- 2) 場 所 5（木）～7（土）に、福島市の保育園や学童保育所など8ヶ所にて人形劇や
ピエロショーなどの公演を実施。※8（日）は地域交流イベント。
- 3) 参加劇団 人形劇団野良犬（1名）、人形劇団シアターとんとん（2名）、ピエロのぐっち
（1名）、劇場スタッフ（2名）
- 4) 公演記録

人形劇団野良犬

月/日（曜）	開演時間	会 場	公演プログラム	観客数
11/5（木）	15:00	チャイルドハウス うねめ保育園 郡山市富田町字上鶴蒔田 6-34	人形劇 「みにくいあひるのPすけ」 パネルシアター 「ママのお化粧」 背負子人形劇 「千匹オオカミ」	55名 (小52、 大人3)
11/6（金）	10:00	川俣町立南幼稚園 南幼稚園 富田幼稚園 川俣高校3年生 伊達郡川俣町字沖ノ内 2-6	人形劇 「みにくいあひるのPすけ」 パネルシアター 「ママのお化粧」 背負子人形劇 「千匹オオカミ」	99名 (小91、 大人8)
11/7（土）	11:00	北部地域子育て 支援センター 郡山市富久山町久保田字 伊賀川原44-1	人形劇 「みにくいあひるのPすけ」 パネルシアター 「ママのお化粧」 背負子人形劇 「千匹オオカミ」	62名 (小31、 大人31)
	13:30			12名 (小7、 大人5)

シアターとんとん&ピエロのぐっち

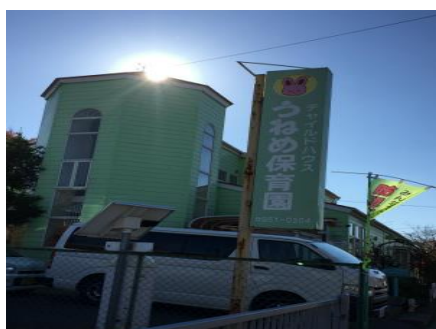
月/日（曜）	開演時間	会 場	公演プログラム	観客数
11/5（木）	15:00	郡山ザベリオ学園幼稚園 郡山市大槻町字古屋敷102 番地	人形劇 「ひよこちゃんのいいな いいな/ひよこちゃんのこ んなになっちゃった」 パネルシアター ぐっちのピエロショー	158名 (子112、 大人46)
11/6（金）	10:00	川俣町立すみよし保育園 伊達郡川俣町字五百田21	人形劇 「ひよこちゃんのいいな いいな/ひよこちゃんのこ んなになっちゃった」 パネルシアター ぐっちのピエロショー	167名 (子143、 大人24)

	14:00	学童保育所わいわいクラブ 伊達郡川俣町字後田 10-1	人形劇 「ひよこちゃんのいいな いいな/ひよこちゃんのこ んなになっちゃった」 パネルシアター ぐっちのピエロショー	44名 (子40、 大人4)
11/7(土)	10:00	ニコニコこども館 郡山市桑野1丁目2-3	人形劇 「ひよこちゃんのいいな いいな/ひよこちゃんのこ んなになっちゃった」 パネルシアター ぐっちのピエロショー	69名 (子35、 大人34)
	14:30	希望ヶ丘児童センター 郡山市希望ヶ丘1-19	人形劇 「ひよこちゃんのいいな いいな/ひよこちゃんのこ んなになっちゃった」 パネルシアター ぐっちのピエロショー	54名 (子32、 大人32)

5) 写真で見る公演及び調査記録

人形劇団野良犬

① チャイルドハウスうねめ保育園



- 同じ建物内に保育園と学童クラブが併設。幼児から小学生までが一緒に人形劇を楽しんだ。
- 札幌のお母さんたちの手づくりハンドパペットをプレゼントし、最後はみんなで記念撮影。アットホームな雰囲気の中、上演をすることができた。

② 川俣町立3園合同鑑賞会（川俣町立南幼稚園・南幼稚園・富田幼稚園・川俣高等学校3年生）



- 3園合同の鑑賞会でとても賑やかな公演となった。川俣高校の生徒が見学に来ており、園児と外で元気に遊んであげている姿が大変微笑ましく、観劇前の園児達の楽しい気持ちを盛りあげてくれた。
- 公演終了後、高校生と少しだけ振り返りの時間をいただいたが、園長先生が保育関係等の仕事につく高校生に贈った「子どもたちの前に立つことを恥ずかしがらないで。一生懸命やっている大人たちのことは、子どもはみんな大好きですから」という温かいメッセージがとても印象的だった。

③ 北部地域子育て支援センター



- 0歳からの小さな子どもたちとお母さんが観劇をしてくれた。乳幼児が多かったため、オオカミなどの人形を怖がるかと心配をしたが、最後まで一生懸命観てくれた子がたくさんいた。
- 午後は少人数だったため、最後に人形に触って遊んだりふれあいの時間を長くとることができた。

シアターとんとん&ピエロのぐっち

① 郡山ザベリオ学園幼稚園



- こどもたちの反応がとてもよく元気に返事をしてくれた。元気がよすぎてステージの前まで来てしまう子もいるくらい盛り上がった。
- 最後にハンドパペットのプレゼントを渡すと、お礼に首飾りをプレゼントしてくれた。

② 川俣町立すみよし保育園



- 人形劇は1歳～2歳の小さな子にも楽しんでもらえたようで、立ちのりのベビーカーのはじにしっかりつかまって一生懸命見てくれていた。
- 始めはピエロをこわがる子もいたが、目の前でどんどん風船をふくらませてくれたり、パントマイムを見せてもらいどんどんひきこまれていった。

③ 学童保育所わいわいクラブ



- 小さい子向けの人形劇だからと劇団さんが不安がっていたが、こどもたちの反応もよく楽しんでみていた。 ピエロのパントマイムを近くで見て、まねをしながら楽しむ子もいた。
- 子どもたちから、学校で練習しているというケーナの演奏を聞かせてもらった。

④ ニコニコこども館



- 屋内に大きな遊具があり、来館者が自由に遊べるようになっている。
- 大きな風船を使って、会場にいるみんなでバルーンで遊べたため、初めて会った人とも交流しながら楽しむことができていた。
- 最初に行った幼稚園で人形劇とピエロショーを見てもう一度会いに来てくれた人もいて、もう一度みたいと思ってもらえるほど楽しんでもらえて嬉しく思う。

⑤ 希望ヶ丘児童センター



- 初めて会うピエロに緊張している様子もあったが、人数が多くなかったため、全員風船がもらえてとても嬉しそうだった。
- 施設の先生方の協力もあり、ぎりぎりまで近くのこどもたちに呼びかけてくれ、たくさんのこどもたちにみてもらいたいと思ってもらえ、とても嬉しかった。

【地域交流事業①】

地域交流イベント『あそびの劇場』

～札幌のやまびこ座・こぐま座からあそびのキャラバン隊がやってくる～ in 郡山

- 1) 日 時 平成27年11月8日(日) 10:00～15:00
- 2) 場 所 郡山市東部地域子育て支援センター(郡山市緑が丘東3丁目2-1)
- 3) 参加劇団 人形劇団野良犬(1名)、人形劇団シアターとんとん(2名)、ピエロのぐっち(1名)、劇場スタッフ(2名)、札幌市児童会館等スタッフ(3名)、郡山現地スタッフ(5名)
- 4) イベント参加者数 延べ188名

時間	プログラム内容	備考	参加者数
10:00 ～ 15:00	遊びのコーナー	工作会、昔あそび、木のおもちゃ、折り紙、お絵かき、読み語り	65名 (子37、 大人28)
10:30	ミニステージ① 「シアターとんとん」	人形劇 「ひよこちゃんのいいないいな/ ひよこちゃんのこんなになっちゃった」 パネルシアター	38名 (子18、 大人20)
12:20	ミニステージ② 「ピエロのぐっち☆ ピエロショー」	パントマイム バルーンパフォーマンス	33名 (子18、 大人15)
13:50	ミニステージ③ 「やぶきさんおひとりさま 40分」	背負子人形劇 「千匹オオカミ」 マジックショー	24名 (子12、 大人12)
14:40	ピエロのワークショップ	バルーンで犬をつくってみよう	28名

5) 写真で見る公演及び調査記録





- 今年度、初めて地域交流イベントを実施した。地元の協力団体の方と連携をし、人形劇などのステージ上演だけではなく、工作会、こまやけん玉などの遊びのコーナーなど子どもから大人まで楽しみ、地域の方の交流の場となるよう企画をした。
- すべてのコーナーを一部屋で実施したが、ステージの時間になったら遊びの手を止めみんなで一緒に観劇するなど、会場全体に一体感があり、遊びにきた子どもたちの反応がどの場所からも見れたのが良かった。
- 工作会では小さい子が多かったため、見本のまねをして作る子が多かったが、目の描きかたや色の使い方などで全然違うものになっており、かわいい作品が完成し子どもたちも満足そうだった。
- 子どもとお父さんお母さん、おばあちゃんが一緒に遊びにきてくれた。昔遊びのコーナーも色々な世代の方が参加してくれたため、世代間交流もできとても良い雰囲気だった。
- 幼稚園や保育園などで実施した人形劇公演の中でこのイベントの告知を行ったところ、人形劇を観た子どもがお父さん・お母さんと一緒に遊びにきてくれた。人形劇を観て、また遊びに来たいと思ってくれたこと、子どもたちにとっての楽しい思い出の一つになれたことを嬉しく思う。

【その他】

≪初めて被災地支援活動事業に参加したイベントスタッフの所感（抜粋）≫

- 当日の地域交流イベントは、児童会館の子育てサロンのようななごやかな雰囲気、幼児さんからおばあちゃんまで家族みんなの笑顔に触れることができました。
- 劇場のみなさんの活動内容を知ることができ、学ぶことが多くありました。そして、現地の方と交流ができたことは、とても貴重な時間でした。
- 今回の経験をとおして、被災地について私が知らないことがまだまだたくさんあることに気付きました。この活動をきっかけに、これから私ができることを見つけていきたいです。
- 施設に隣接している公園に放射線の線量計がありショックで、これが現実なんだと心が痛みました。一歩施設のなかに入ると窓はぴっかぴか、手作りのもので満ち満ち愛情たっぷり！温もりを感じました。
- 今回の活動や見てきたことをまずは家族や友人、職員に伝えていきたいと思います。

福島県を訪れ、現地の方からお話を聞かさせていただくなかで、放射能によって壊された地域コミュニティの問題など、難しい多くの問題を耳にする。そんな復興とは程遠い現状の中、震災から4年以上が経過し、年々薄れていく被災地の情報に危機感を覚える。今回、これまで行ってきた人形劇を通じた文化的支援の他に、初めての試みとして地域交流イベントを実施した。被災地が抱える多くの問題にすぐに解決の糸口を見つけることは難しいが、地元の方と協力をし、みんなで楽しめる交流の場を一緒に作りあげていくことで、それが地域の活力につながっていくことを期待する。